明科いいまち通信

明科いいまちつくろうかい!!
回覧
編集・発行

No. 56

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎62-3001　／　明科公民館：☎62-4605

令和元年１１月２１日 発行

今月の明科の事業所・団体紹介

今回は **明科地域の農業を守る会** です

農業を守る会会長
池上　洋助

【明科地域の農業を守る会】について

安曇野市農業委員会の明科地域委員は、数年の検討期間を経て、平成２５年度に明科地域農業委員を中心に、認定農業者の代表、農家組合代表、行政（県・市）及びＪＡ関係者等で構成された当会を立ち上げ、荒廃農地再生事業への具体的な取組を開始しました。安曇野市の林野化を含む荒廃農地は、390ha に及び、その 60%程度の 240ha が当明科地域に集中する誠に深刻な状況です。

当時の荒廃農地再生事業の取組は、対象農地の解消面積規模も小さく、栽培作物も蕎麦・大豆等に限定されておりました。このような状況では、将来を見据えての営農形態・新規就農者の育成確保等、明科地域の農業を守り、併せて発展させていく事は困難です。そこで、当会は明科地域に広範囲で存在する荒廃農地数か所を候補に挙げ現地調査を実施する中で、上押野天王原 15ha を荒廃農地解消と優良農地再生並びに新規就農者の確保育成の場として取組む事と決定しました。

荒廃農地の開墾作業のようす

本事業を進めるに当たって当会が大切にした事は以下の３点です。第一に、地元上押野地域の住民の方々に事業内容についての理解を得る事。第二に荒廃農地解消後の農地利用は、全域ワイン用ブドウに限定する事。第三に耕作者は、市のホームページで公募し、提出された営農計画者を選考委員会で慎重審議して決定する事でした。

すずなりのシャルドネを収穫中です

今回の事業を進めるに当たり、安曇野市全域の農業委員を始め、南安曇農業高等学校の先生・生徒さんや、他多くのボランティアの方々に支えられて当初予定した事業を達成する事ができました。平成３０年３月には、北アルプス・安曇野ワインバレー特区が認可され、同年１１月には特区に基づく新しいワイナリーが再生農地の近隣に設立されました。県の日本アルプスワインバレー構想に沿って、新しいワイン用ブドウの産地形成・６次産業化の夢が確実にすすんでいます。しかし当明科地域には、まだまだ多くの荒廃農地が存在しています。我々明科地域の農業を守る会は、一連の繋がりのある広範囲の荒廃農地の実態調査を進め、天王原で培った様々な経験を基に、引続き地道ではありますが、新規就農者の誘致・育成と明科地域の農業・自然環境を守る活動を、微力ながら継続して取り組んで参りたいと思っています。

天王原ワインが完成しました

ウォーキングプロジェクト

いいとこあるじゃん 明科さんぽ

県宝「木造日光菩薩立像・月光菩薩立像」

昨年に引き続き、文化財の一般公開日に合わせて、清水の光久寺にある県宝「木造日光菩薩立像・月光菩薩立像」見学と長峰山トレッキングを行った。今年も天気に恵まれず、長峰山山頂までの登山は叶わなかったが、旧上川手小学校矢ノ沢分教場まで歩いた。

移り住んだ若い人によって守られている県宝だが、その維持には大変苦労されているようだ。来年も歩くイベントを企画するので、多くの方の参加を望みたい。

旧上川手小学校矢ノ沢分教場

明科たからばこ

山と川の町明科は自然との共生力が重要
――台風19号災害を省みる――

10月の台風19号に伴う河川の氾濫は東日本各地に大きな災害をもたらした。被害に遭われた方にお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに国を挙げて早期復興を願うばかりである。県内でも東北信の千曲川沿線では堤防の決壊や土砂崩落で多大な被害が発生し、避難生活者も多数であり、復旧は自衛隊やボランティアの方々により連日続けられている。

今回の雨台風がもう少し西寄りで飛騨山脈(北アルプス)や赤石山脈(南アルプス)近辺を通過していたらどうなっていたであろうか。川が集まり中山間地の明科地域はと想像すると計り知れない恐怖感を覚える。明科の地形を見ると古い住宅地や集落は段丘上の比較的安全な場所に形成されてきた。山間地集落も幾多の災害の教訓により尾根筋などに点在している。しかし戦後になると上流に大型ダムが何基もでき堤防が整備され、かつてのような雨が降るたびに農地が流されるといったことが減少し、増水による心配が薄れたり砂防施設の整備により、かつては住宅地ではなかった山際や沢筋、段丘より下の川筋に住宅地が多く見られるようになった。今回の台風災害を目の当たりにすると不安がよぎるのである。

地震列島、豪雨列島、台風列島、火山列島のこの島国日本で生活するには常に災害と向き合っていかなければならない。これは明科ばかりではない。市内を見てみても梓川や奈良井川が同じように氾濫すればそこから分水している拾ケ堰や勘左衛門堰なども当然氾濫するし高瀬川や烏川、穂高川と言った河川も氾濫することは十分想定される。中でも明科は犀川が中央を流れ、木戸橋付近や睦橋付近は狭窄部でもあり常に注視していることが重要である。自然と付き合うということは自分の身を守るにはどういう行動をとればよいかを皆が熟知して置くことが必要で、情報の収集、避難場所、準備品、避難ルート、避難方法と早めの対応が肝心である。それにもうひとつ、地域の繋がりを大切にし集落内や隣近所は平素から声を掛け合うことも重要である。昨今はこのような人と人との繋がり、共助の心が希薄になりがちで数軒しかない集落で何年も顔を見たことがないなんてケースもある。数年前の白馬神城断層地震で家屋倒壊が多発しても、一人も犠牲者が出なかったというのは日頃からの近所の繋がりで協力して救助したからである。

では、いざ避難する場合どこへ？　ということである。市のハザードマップによれば、各集落の集会施設(地区公民館)が緊急避難場所として広く指定されているが、明科はその集会施設が土砂災害や洪水危険区域になっていることが多い。そこで**避難場所は明科公民館**が一番ということで認識していることが重要である。

最後にもう一点、ダムや堰堤、堤防があるから絶対安心とか大丈夫という考えはやめることである。これら施設は皆々が避難する際に一時的に防御するものであり、いわゆる避難するための時間を稼ぐためのものであり、絶対安全だということではないという認識が必要で常々自分なりの避難対応を考えていることが肝要である。

令和元年11月　郷土塾　出水庵　永峰

【おことわり】本記事は11月6日にご寄稿いただいたものを掲載しています。

いいまちサロン 第74回

潮神明宮 〈日岐盛直神田寄進状〉を読む

秋の明科東川手の潮神明宮に「日岐盛直神田寄進状（ひきもりなお しんでんきしんじょう）」という古文書が所蔵されています。明科地域やその周辺の戦国時代を知ることができる貴重な資料であり、安曇野市有形文化財に指定されています。
今回は、古文書を読みながら、潮神明宮をめぐる当時の情勢を考えてみたいと思います。

日　時： 11 月 26 日(火) 午前10時～正午
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 逸見　大悟さん（安曇野市文化課職員）
参加費： 300円（お茶代）
申込み： 不要
共　催： 明科いいまちつくろうかい!!

明科公民館 ボッチャ講座

ボッチャとは、2チームが赤と青のボールをそれぞれ白い目標球に向かって投げ、どちらのチームが目標球にボールを近づけられるかを競う競技です。この講座で楽しみながら体を動かしてみませんか。

日　時： 12月3日(火)/10日(火) 午後7時～8時30分
※なお、1回のみの受講も可能です。
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 明科地域スポーツ推進委員
参加費： 1回200円 / **定　員：** 先着36人
対　象： 市内在住または在勤の人
持ち物： 運動できる服装・運動靴・飲み物・タオル
申込み： 11月28日(木)・29日(金)に明科公民館へお電話ください（TEL62-4605）。受付は午前9時～午後5時。

いいまちサロン 第75回

クリスマス音楽会

クリスマスカラーにつつまれる12月の日曜日の午後、コンサートを楽しみませんか。お子さんからお年寄りの方まで、皆さんで楽しめる音楽会です。ぜひお越しください。

日　時： 12月15日(日) 午後1時～3時
会　場： 明科公民館　講堂
出　演： 弦楽アンサンブル『リアン』と『みさとドルチェ』の方々（バイオリン2、チェロ、ギター、ピアノ）
参加費： 300円（高校生以下：100円）
申込み： 不要
主　催： 明科いいまちつくろうかい!!

年末年始料理講座

フライドチキン、牛肉とごぼうの堀川巻き、ショコラケーキなど、年末年始に食べたい料理を作りませんか。ご参加お待ちしております。

日　時： 12月19日(木) 午前9時30分～正午
会　場： 明科公民館　調理実習室
講　師： 高橋　清美さん（元松本広域調理師会会長）
参加費： 1000円
定　員： 先着20人
対　象： 市内在住または在勤の人
持ち物： 料理を持ち帰る容器（タッパーなど）
申込み： 12月9日(月)・10日(火)に明科公民館へお電話ください（TEL62-4605）。受付は午前9時～午後5時。

お正月の花を飾ろう

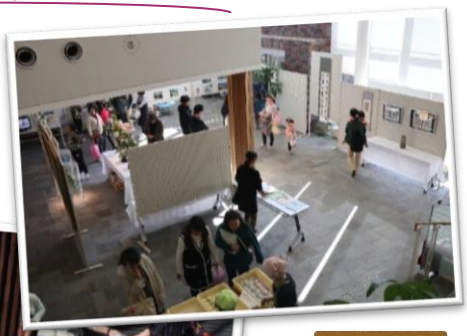
自分で生けたお花を部屋に飾って新しい年を迎えませんか。初心者の方も経験者の方も大歓迎！花を楽しく生けてみましょう。

日　時： 12月25日(水) 午前10時～11時30分
会　場： 明科公民館　創作室
講　師： 細川　留美子さん
参加費： 2000円（受講料・花代を含む）
定　員： 先着15人
対　象： 市内在住または在勤の人
持ち物： 花器、剣山、花ばさみ、新聞紙、タオル
（※花器や剣山のない方は申込み時にその旨をお知らせください。容れ物を300円程度で用意します。）
申込み： 12月16日(月)・17日(火)に明科公民館へお電話ください（TEL62-4605）。受付は午前9時～午後5時。

明科地域文化祭が開催されました

11月2日～4日にかけて、第14回明科地域文化祭が華やかに開催されました。晴天にも恵まれ、明科地域や他地域から例年より多くの方が来場され、展示会や芸能発表などで連日賑わいました。

「明科いいまちつくろうかい！！」では、10月に県内に甚大な被害をもたらした台風19号の災害支援金に充てようと、不要食器を集め「もったいない市」を文化祭期間中に開催。募金箱を設置し、来場者のみなさんに寄付を募ったところ、大勢の方々より多大なるご協力をいただくことができました。ありがとうございました。



ステージ発表のご紹介

11/2（土） お楽しみサロンコンサート

２日はお楽しみサロンを開催。ファゴットとピアノの二重奏のほか、地域の皆さんの踊りや演奏で賑わいました。

11/3（日） 芸能発表会

３日は恒例の芸能発表会。明北小、明南小の金管バンドを皮切りに27団体が歌、舞踊、詩吟などを披露し、日ごろの成果を競い合いました。生涯にわたる継続を願います。

11/4（月） 晩秋ふれあいコンサート

４日の最終日は晚秋ふれあいコンサートを開催しました。はるばる浜松市から訪れた「オーケストラ・アンサンブル青い風」のみなさんによるオーケストラ演奏を楽しみました。演奏のほか、指揮者体験、寸劇など参加者と一体となった企画もあり、100人を超える来場者でにぎわいました。

編集後記

・朝晩は冷え込みが厳しく暖房が必要な時期になりました。この歳になると冬に向かう時期は人生の終焉に向かうような感じで心細い気持ちになります。台風で被災された方はどんなに心細いか心中をお察し申し上げます。しかし春は必ずめぐってきますので気持ちを強く持ってがんばっていただきたいと思います。（や）

・先日引越しをしました。旧宅はモノだらけだったので、新居はスッキリさせようと収納家具を色々と購入。オススメは天井まで届く突っ張り本棚です。あらゆる本とCDが1面に整然と格納できるのはなかなか快感です。（ふ）

毎月第３日曜日は

家庭の日 ～家族で一緒に過ごしましょう～

家庭の日には、優待制度が利用できる店舗・施設等があります。詳しくは「長野県青少年育成県民会議」ホームページまで。

http://himawari-nagano.jp/